

資料 2

薬剤師確保のための 調査・検討事業について

京都大学より報告

➤ アンケート報告

- ・病院向けアンケート
- ・薬局向けアンケート
- ・薬剤師個人向けアンケート
- ・学生向けアンケート

➤ 【滋賀県版】薬剤師偏在指標の算出について

アンケート調査概要

薬剤師の就業実態を把握するため、病院および薬局に対する施設調査と従事する薬剤師本人に対する調査を行った。

内容：令和4年11月に厚生労働省医薬・生活衛生局総務課が実施した「薬剤師確保に係る調査」を参考に作成

実施日：8月23日（水）から9月14日（金）

対象：滋賀県内の病院、薬局および各医療施設に勤務する薬剤師個人

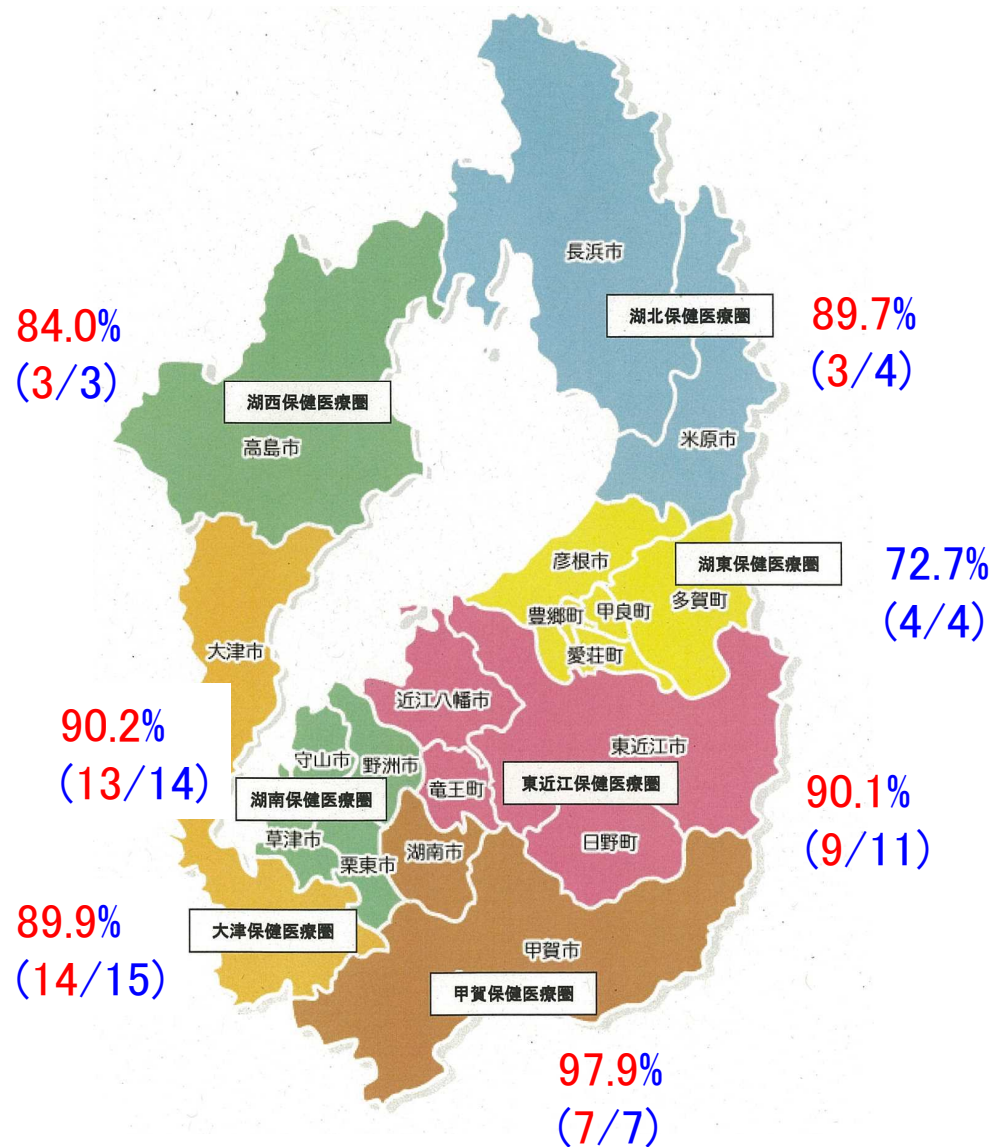
方法：WEB（しがネット受付サービス）

回収率：病院・・・91.4%（53/58病院） [データの更新があったので再集計](#)
薬局・・・29.7%（199/699薬局）
薬剤師本人・・・502名から回答

病院向けアンケートの結果の抜粋
【回収率91.4% (53/58病院)】

二次医療圏別の充足率(赤字はデータ更新)

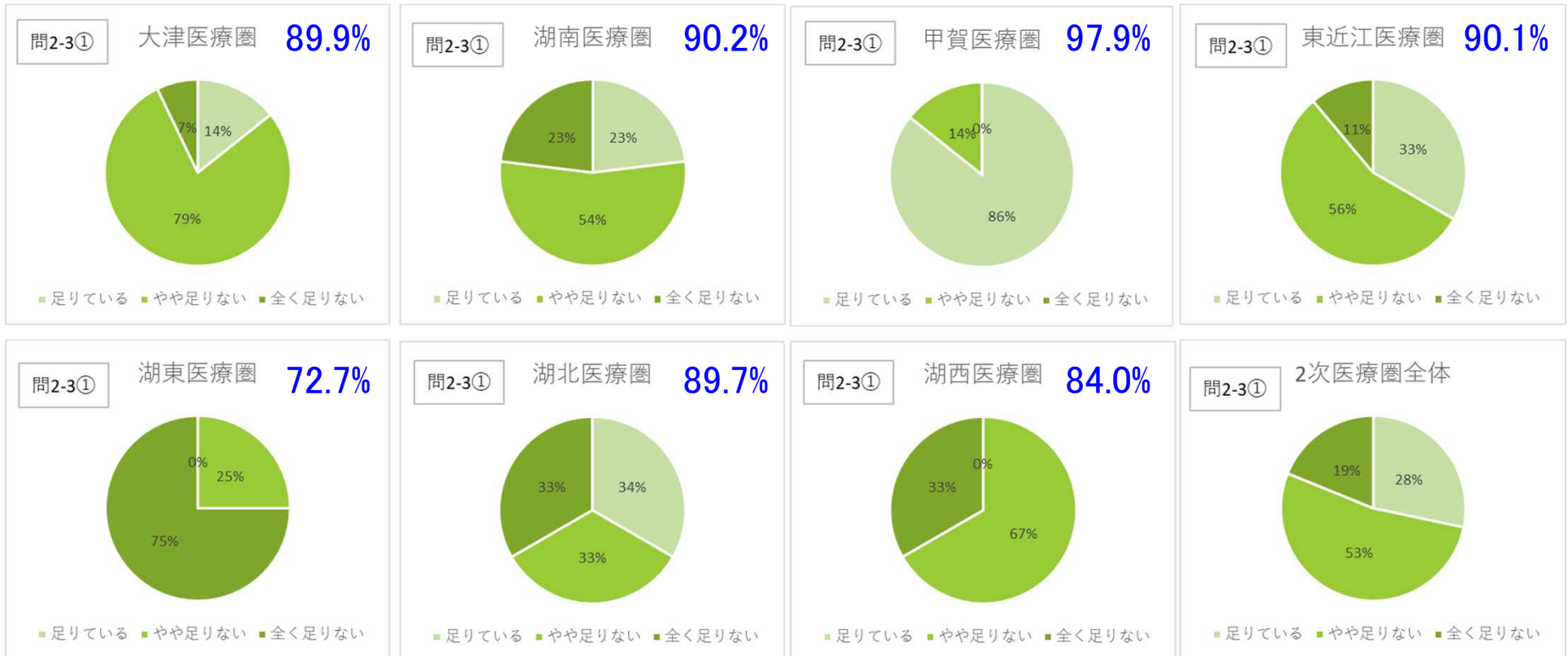
定員に対する充足率
(回答数/全病院数)



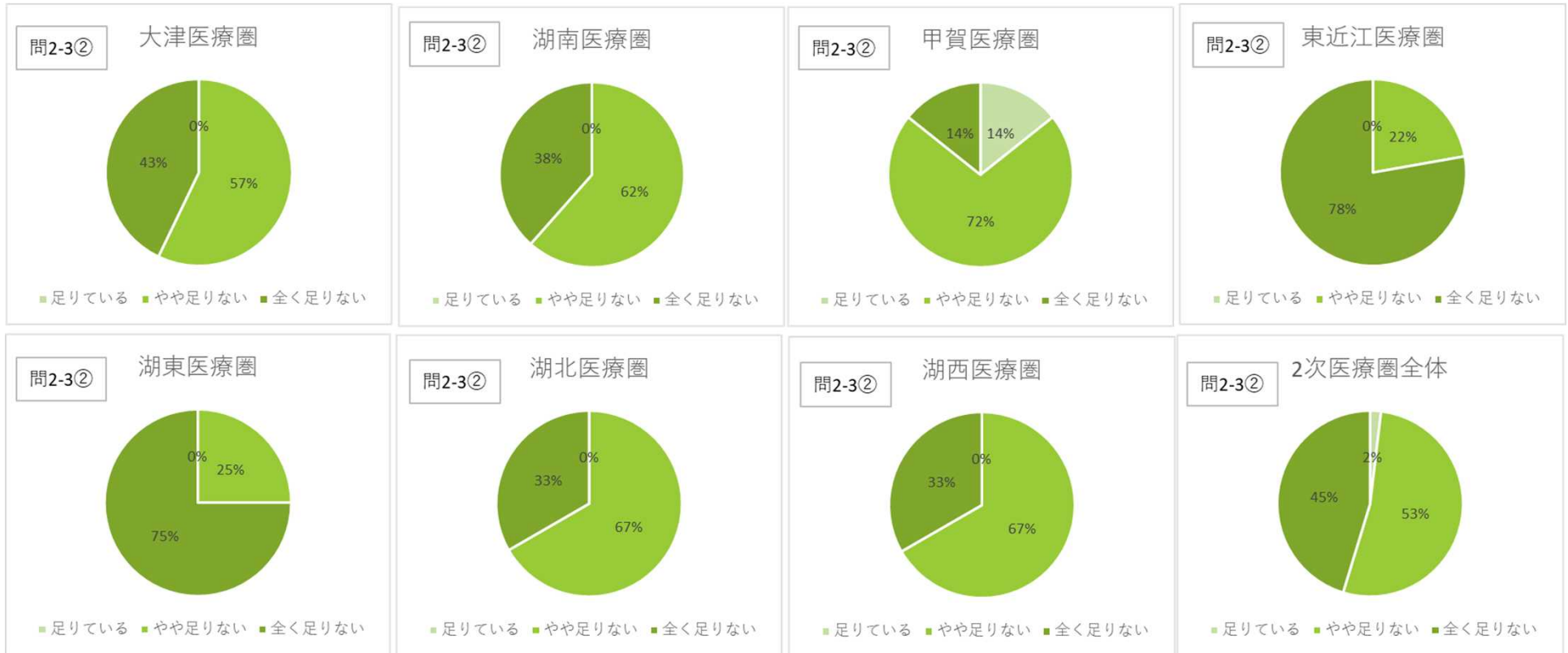
琵琶湖の南側は比較的充足率が高いが、湖西、湖東は充足率低め

問2-3①: 現在の定員を前提とした場合の充足状況

※青字は定員充足率



問2-3②: 需要があり業務を拡大したい場合等の充足状況



**薬局向けアンケートの結果の抜粋
【29.7%（199/699薬局）】**

2. 薬剤師の確保状況についてお伺いします

問2-1①②③: 定員と実際に勤務する薬剤師数

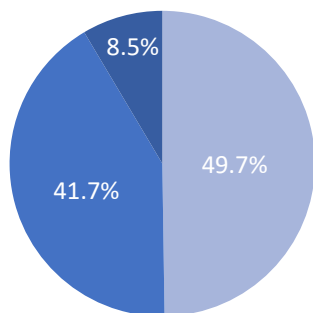
問2-3①②: 薬局薬剤師の各場合における充足状況

問2-4①②: 業務上必要と考える薬剤師数

定員に対する充足率: **92.6%**

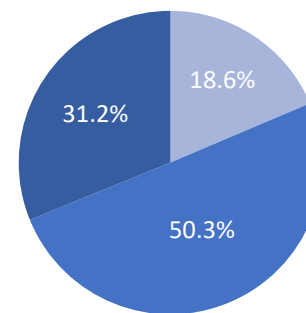
必要な薬剤師数に対する充足率: **88.5%**

問2-3①: 現在の定員を前提とした場合の充足状況



■1. 足りている ■2. やや足りない ■3. 全く足りない

問2-3②: 需要があり業務を拡大したい場合等の充足状況



■1. 足りている ■2. やや足りない ■3. 全く足りない

※2次医療圏の情報が手元に無かったため、滋賀県全域で算出

2. 薬剤師の確保状況についてお伺いします

問2-2: 薬局の各種取り組み状況

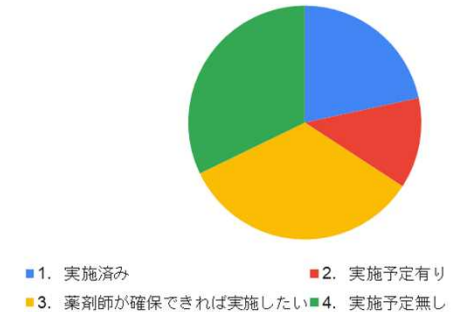
問2-2①: 24時間対応の取組状況



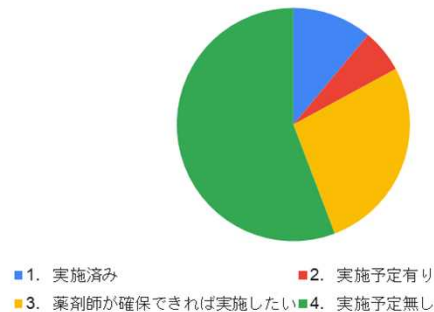
問2-2②: 在宅対応の取組状況



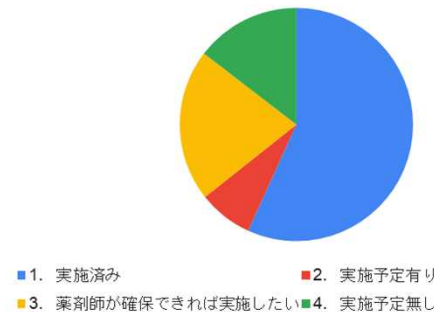
問2-2③: 健康サポート業務の取組状況



問2-2④: 高度薬学管理業務の取組状況



問2-2⑤: 地域での多職種連携の取組状況



問2-2⑥: 要指導医薬品の取扱いの取組状況



問2-2⑦: 一般用医薬品の取扱いの取組状況



薬剤師個人向けアンケートの結果の抜粋 (502名から回答)

1. 基本情報

問1-1：性別 男性：204名 女性：294名

問1-2：年齢 男性平均：41.1歳 女性平均：41.6歳

問1-6：現在の勤務先 病院：272名 薬局：230名

問1-3：高校卒業時の居住場所

都道府県	人数
滋賀	299
大阪	55
京都	38
兵庫	21
奈良	11
和歌山	7

問1-4：大学の所在地

都道府県	人数
京都	153
大阪	128
兵庫	63
石川	28
愛知	22
滋賀	20

問1-5：大学種別

種別	人数
国立	35
公立	18
私立	449

1. 基本情報

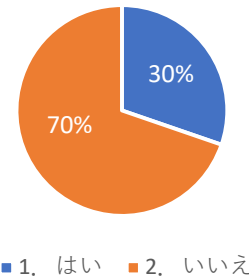
問1-10：現在の勤務先に勤務する前の勤務先（複数回答可）

業態	人数
病院	146
薬局	171
製薬企業	20
上記以外	33
転職なし (学生)	159

問1-11：転職回数

最小0回、最大12回

問1-12：奨学金を借りたことがありますか？



最小48万円
最大1400万円

問1-14：回答者個人の令和4年度の総収入

収入	人数
200万円未満	44
200万円以上300万円未満	34
300万円以上400万円未満	75
400万円以上500万円未満	104
500万円以上600万円未満	90

収入	人数
600万円以上700万円未満	70
700万円以上800万円未満	38
800万円以上900万円未満	17
900万円以上1000万円未満	18
1000万円以上	13 12

2. 現在の仕事への意識

問2-5①：現在の勤務地はどの地域に該当しますか

選択肢（複数回答可）	回答数
1. 出身地（実家や親類の居住地に近い等）	275
2. 配偶者など家族の勤務地に近い地域	151
3. 出身大学に近い地域	37
4. 知人の勤務地域もしくは居住地	21
5. 複数勤務地がある中、勤務先法人が決めた勤務地	43
6. その他	32

問2-5②：現在の勤務地で勤務する決め手を選んで下さい

選択肢（一つ選択）	回答数
1. 出身地（実家や親類の居住地に近い等）	240
2. 配偶者など家族の勤務地に近い地域	114
3. 出身大学に近い地域	13
4. 知人の勤務地域もしくは居住地	17
5. 複数勤務地がある中、勤務先法人が決めた勤務地	35
6. その他	50
7. 現在の勤務地で勤務する決め手として該当するものはない	33

2. 現在の仕事への意識

問2-6①：就職前に仕事面で重視した点

選択肢（複数回答可）	回答数
1. 給与水準	298
2. 昇給ペース	28
3. 勤務時間の長さ	112
4. 短時間勤務のしやすさ	36
5. 勤務日や勤務時間を柔軟に設定しやすいか	88
6. 付与された休暇日数	50
7. 休暇の取りやすさ	107
8. 通勤時間の長さ	188
9. 通勤の利便性	190
10. 業務内容	208

選択肢（複数回答可）	回答数
11. やりがい	179
12. 他職種との関係性	63
13. 上司や同僚からのサポート	43
14. 職場の人間関係	118
15. スキルアップのための研修制度	54
16. 副業のしやすさ	11
17. 福利厚生制度	73
18. 育休等の休業制度	35
19. 地域ならではの業務慣行	8
20. その他	8
21. 特にない	24

2. 現在の仕事への意識

問2-6②：就職前に生活面で重視した点

選択肢（複数回答可）	回答数
1. 自然災害が少ない地域か	76
2. 物価が安い	16
3. スーパー、金融機関などが整っているか	101
4. 医療体制が整っているか	60
5. 保育・教育環境が整っているか	76
6. 介護が行いやすい環境か	7
7. 住居が快適か	152
8. 公共交通機関が整っているか	156
9. 都市部へのアクセス性は良いか	104
10. 近所付き合いが良好か	18

選択肢（複数回答可）	回答数
11. 地域に同世代の住人が多いか	24
12. 趣味・娯楽などプライベートを充実させられるか	62
13. リフレッシュできる施設・環境があるか	42
14. その他	11
15. 特にない	98

2. 現在の仕事への意識

問2-9①②③：どの条件が整えば各地域での勤務が可能か

条件	都市部	地方部（僻地以外）	僻地
1. 給与面（給与水準、昇給ペース）の条件	292	310	235
2. 仕事面（給与面以外）の条件	201	225	165
3. 生活面の条件	276	312	242
4. その他の条件	16	32	20
5. 条件によらず勤務してもよい	25	29	9
6. いずれの条件でも勤務したくない	99	65	189

2. 現在の仕事への意識

問2-9④⑤：どの条件が整えば各業態での勤務が可能か

条件	病院	薬局
1. 給与面（給与水準、昇給ペース）の条件	311	325
2. 仕事面（給与面以外）の条件	239	285
3. 生活面の条件	215	245
4. その他の条件	22	32
5. 条件によらず勤務してもよい	29	29
6. いずれの条件でも勤務したくない	103	55

学生アンケート調査概要

薬学部の学生が、滋賀県の薬局または病院で就職を希望するかどうかを把握するとともに、薬剤師の地域偏在の問題を踏まえ、就職を希望する滋賀県内の地域を把握することを目的として、調査を行った。

実施日：11月6日（月）から12月4日（月）

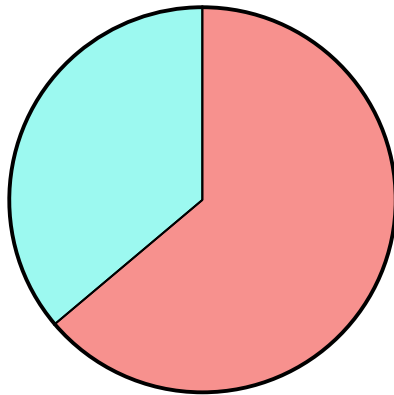
対象：立命館大学薬学部・京都薬科大学 4年生～5年生

方法：WEB（しがネット受付サービス）

回収率：京都薬科大学・・・8.1%（55/677）

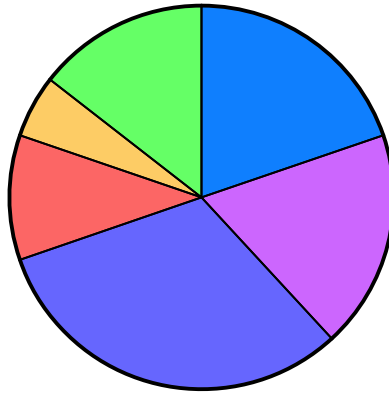
立命館大学薬学部・・・60.6%（97/160）

在籍する大学



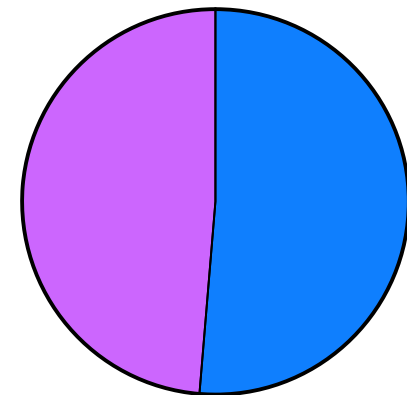
- 97名 立命館
- 55名 京都薬

出身高校の所在する地域



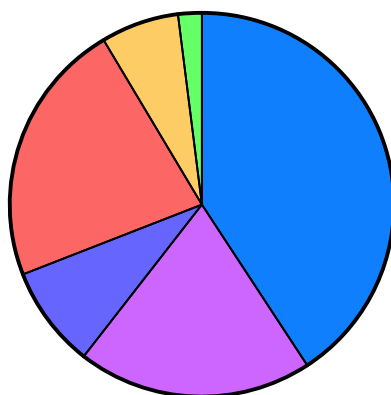
- 1. 滋賀県
- 2. 京都府
- 3. 上記以外の近畿地方
- 4. 中部地方
- 5. 中国地方
- 6. その他の地方

大学にどこから通っているか



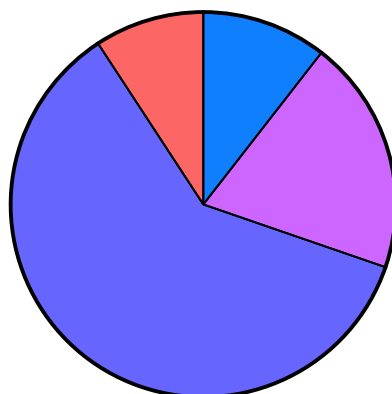
- 1. 自宅
- 2. 自宅以外

大学を卒業後どのような職業に就きたいと考えているか



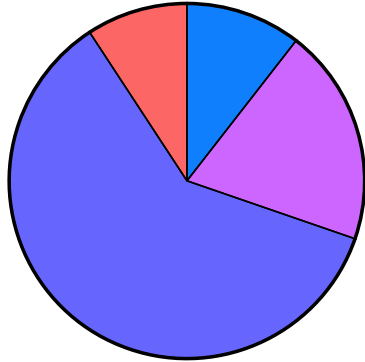
- 1.病院
- 2.薬局・ドラッグストア
- 3.公務員
- 4.製薬企業
- 5.その他の企業
- 6.大学院進学

大学卒業後または大学院修了後、どこの地域で働きたい



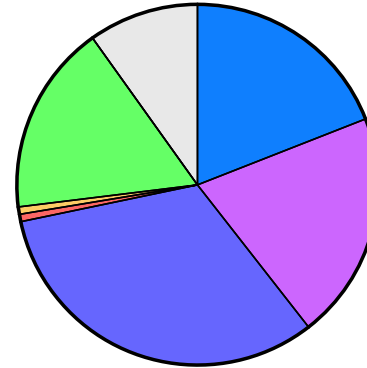
- 1.できれば滋賀県で働きたい
- 2.できれば京都府で働きたい
- 3.できれば上記以外の都道府県で働きたい
- 4.特に勤務場所の希望はない

大学卒業後または
大学院修了後、
どこの地域で働きたいか



- 1. できれば滋賀県で働きたい
- 2. できれば京都府で働きたい
- 3. できれば上記以外の都道府県で働きたい
- 4. 特に勤務場所の希望はない

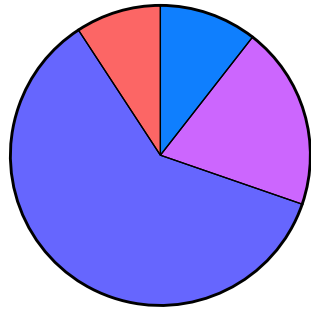
就職する地域についてそのように考える理由は何か



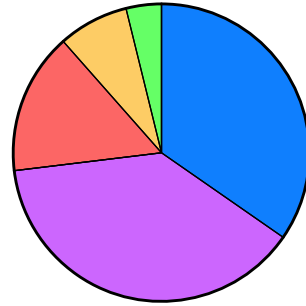
- 1. その地域に就職希望または就職希望先があるから
- 2. 現在その地域に住んでいるから
- 3. その地域に実家がある
- 4. その地域にある家業を継ぐ必要がある、または知人の経営する薬局等で勤務することに
- 5. その地域の病院または薬局で実務実習を希望している、または実務実習を行ったため就職先としやすい
- 6. 都会に住みたいから
- 7. 田舎に住みたいから。
- 8. その他

滋賀県のどの地域（二次保健医療圏）で働きたい
または働いてもよいと思うか（複数選択可）

大学卒業後または
大学院修了後
どこの地域で働きたいか

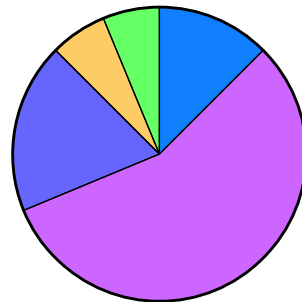


- 1. できれば滋賀県で働きたい
- 2. できれば京都府で働きたい
- 3. できれば上記以外の都道府県で働きたい
- 4. 特に勤務場所の希望はない



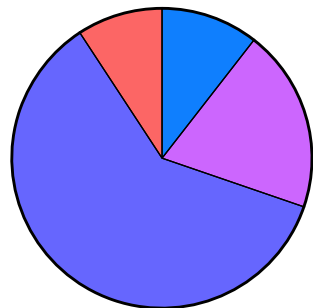
- 1. 大津地域（大津市）
- 2. 湖南地域（草津市、守山市、栗東市、野洲市）
- 3. 甲賀地方（甲賀市、湖南市）
- 4. 東近江地域（近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町）
- 5. 湖東地域（彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町）
- 6. 湖北地域（長浜市、米原市）
- 7. 湖西地域（高島市）

なぜ滋賀県の中でもその地域で働きたい（働いてもよい）
と思ったのか



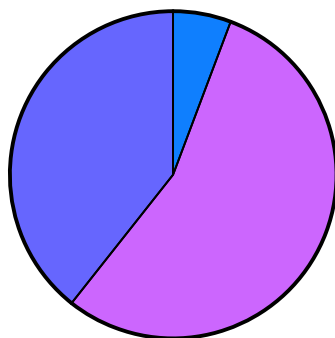
- 1. その地域に就職希望または就職希望先があるから
- 2. 現在その地域に住んでいるから
- 3. その地域に実家がある
- 4. その地域にある家業を継ぐ必要がある、または知人の経営する薬局・企業等で勤務することになっているから。
- 5. その地域の病院または薬局で実務実習を希望している、または実務実習を行ったため、就職先として考えやすいから。
- 6. その他

大学卒業後または
大学院修了後
どこの地域で働きたいか



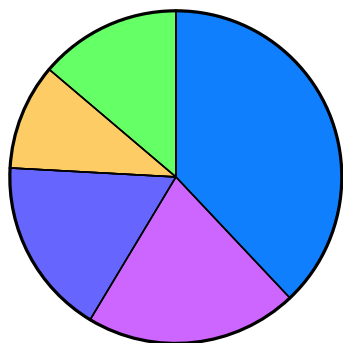
- 1. できれば滋賀県で働きたい
- 2. できれば京都府で働きたい
- 3. できれば上記以外の都道府県で働きたい
- 4. 特に勤務場所の希望はない

将来的に、いずれかのタイミングで、滋賀県で働きたい気持ちがあるか



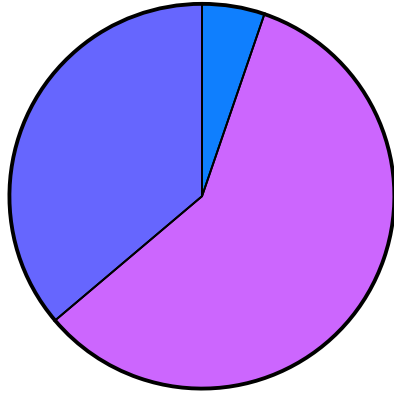
- 1. ある
- 2. ない
- 3. 分からない

なぜ将来的にいずれかのタイミングで、滋賀県で働きたいと思ったか



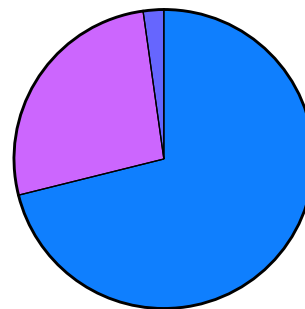
- 1. その地域に就職希望または就職希望先があるから
- 2. 現在その地域に住んでいるから
- 3. その地域に実家がある
- 4. その地域にある家業を継ぐ必要がある、または知人の経営する薬局・企業等で勤務することになっているから。
- 5. その地域の病院または薬局で実務実習を希望している、または実務実習を行ったため、就職先として考えやすいから。
- 6. その他

もし、現在の府県以外に所在する大学の薬学部学生だったとしたら、
どこで働きたいと思う



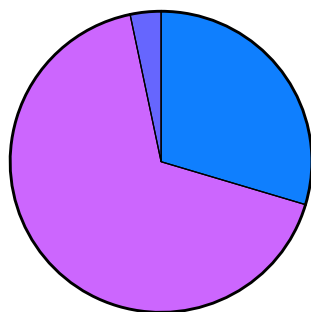
- 1. できれば滋賀県で働きたいと思うだろう。
- 2. できれば他の都道府県で働きたいと思うだろう。
- 3. 特に勤務場所の希望はないと思うだろう。

支援を受けている奨学金等はどれか



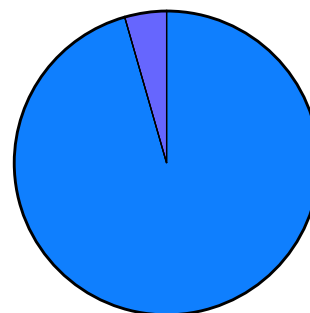
- 1.貸与型
- 2.給付型
- 3.その他

奨学金等を利用しているか



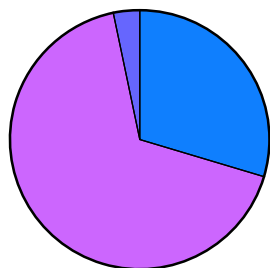
- 1.利用している
- 2.利用していない
- 3.分からない (答えられない)

奨学金等の支援はどこで受けているか



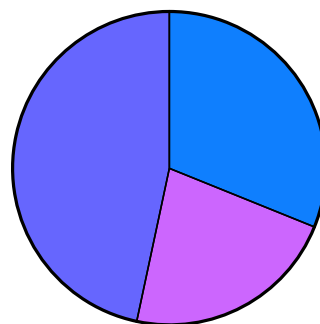
- 1.日本学生支援機構
- 2.日本政策金融公庫
- 3.その他

奨学金等を利用しているか



- 1.利用している
- 2.利用していない
- 3.分からない(答えられない)

滋賀県内での勤務を条件とした奨学金等の返済支援(給付)があれば受けたいか



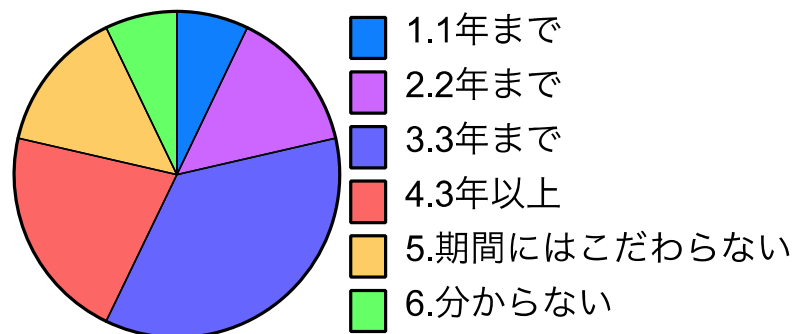
- 1.受けたい
- 2.受けたくない
- 3.分からない

返済支援を受けたい金額の総額と支援を受けたい期間

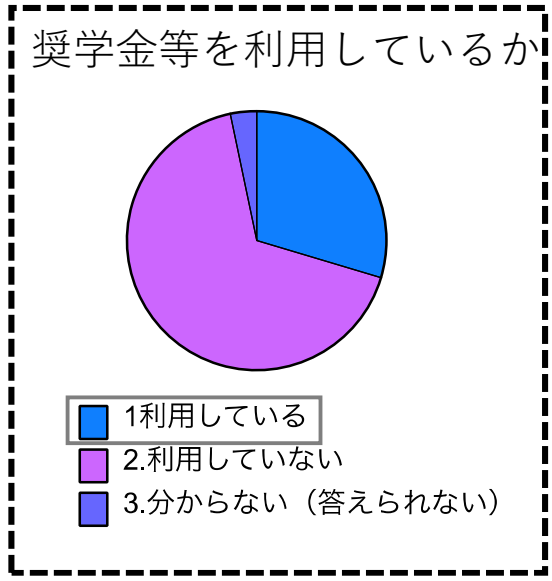
金額	
5万円	1人
100万円	1人
200万円	2人
250万円	1人
300万円	1人
400万円	1人
500万円	1人
864万円	1人
1000万円	1人
1200万円	1人

年数	
2年	1人
3年	2人
5年	1人
6年	1人
10年	2人
15年	1人

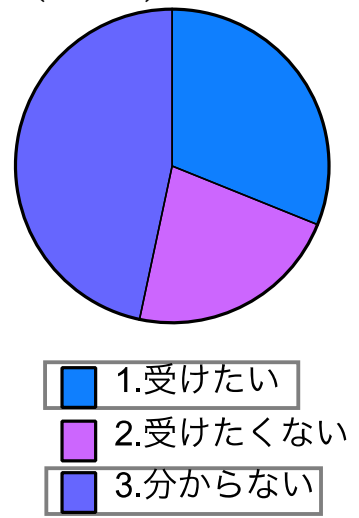
滋賀県の指定された地域で勤務する期間について、どのくらいの期間であれば勤務してもよいと思うか



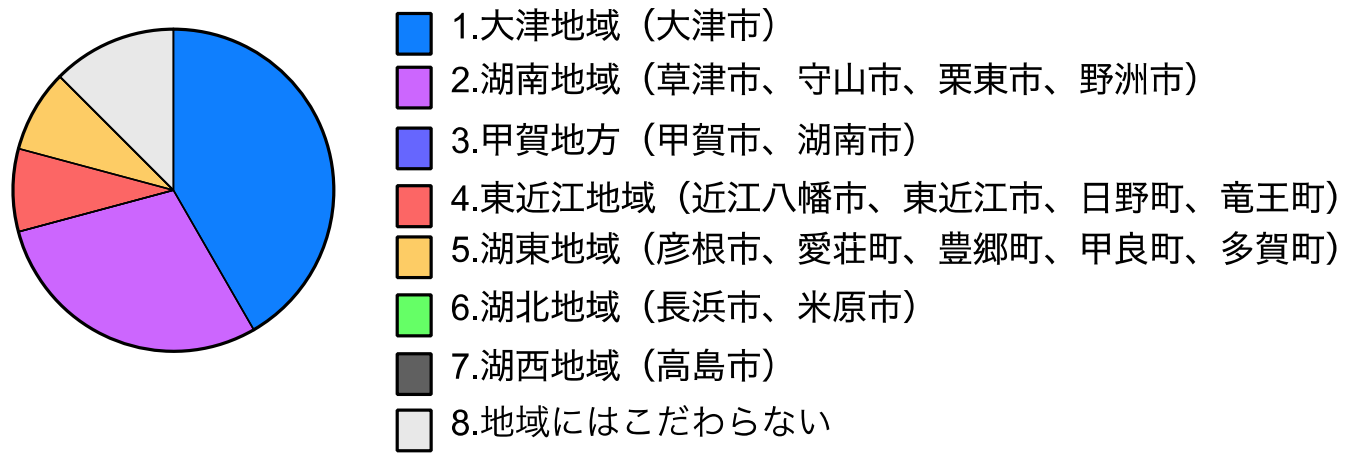
- 1.1年まで
- 2.2年まで
- 3.3年まで
- 4.3年以上
- 5.期間にはこだわらない
- 6.分からない



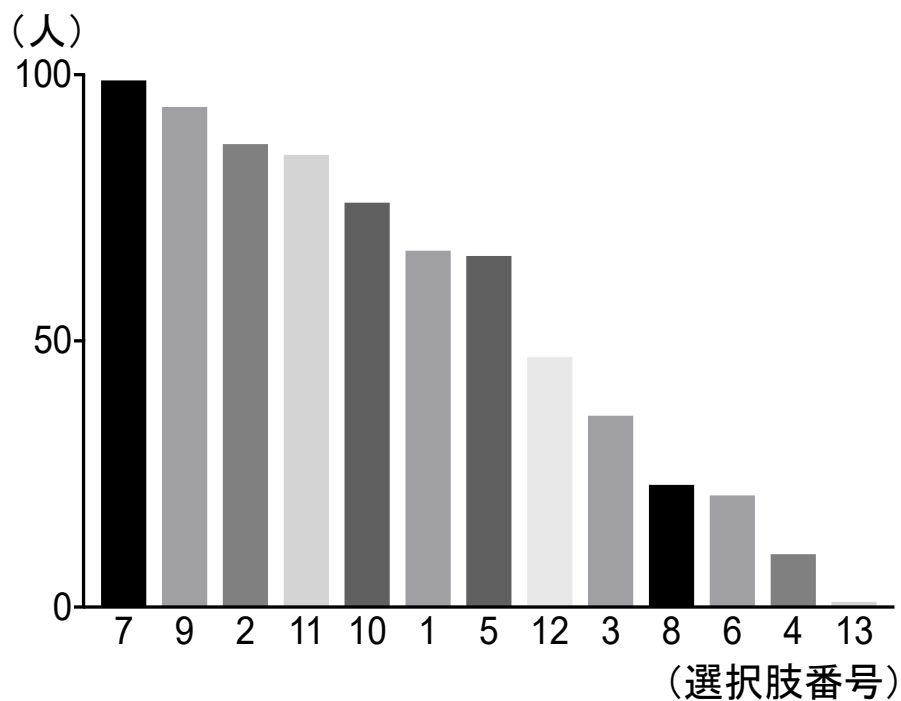
滋賀県内での勤務を条件とした奨学金等の返済支援（給付）があれば受けたいか



指定された地域について、滋賀県内のどこの地域であれば勤務してもよいと思うか



就職先を検討するにあたって地域以外に重要視することは何か
 (複数選択可)



1. 薬剤師としての専門性を活かせること
2. 自分が成長できる環境があること (研修制度や勉強会等が充実)
3. 何らかの形で地域に貢献できること
4. 将来何らかの形で独立できること
5. 長く働き続けられること
6. 会社の規模・知名度があること
7. 給与が高いこと
8. 就職初期の金銭面での支援があること
9. 福利厚生が充実していること
10. ワークライフバランスを重視した働き方ができること
11. 人間関係が良いこと (先輩、知人がいること)
12. 住み替えが必要になる転勤が少ないこと
13. その他 ()

【滋賀県版】薬剤師偏在指標の 算出について

厚生労働省算出の地域偏在指標の問題点

(薬務課からのご意見)

- ・地域偏在指標が滋賀県の実際を本当に評価できているのか？

(滋賀県病院薬剤師会からのご意見)

- ・多くのパラメーターが全国平均に基づいている
- ・地域人口など、2018年度のデータを利用しており、やや古い



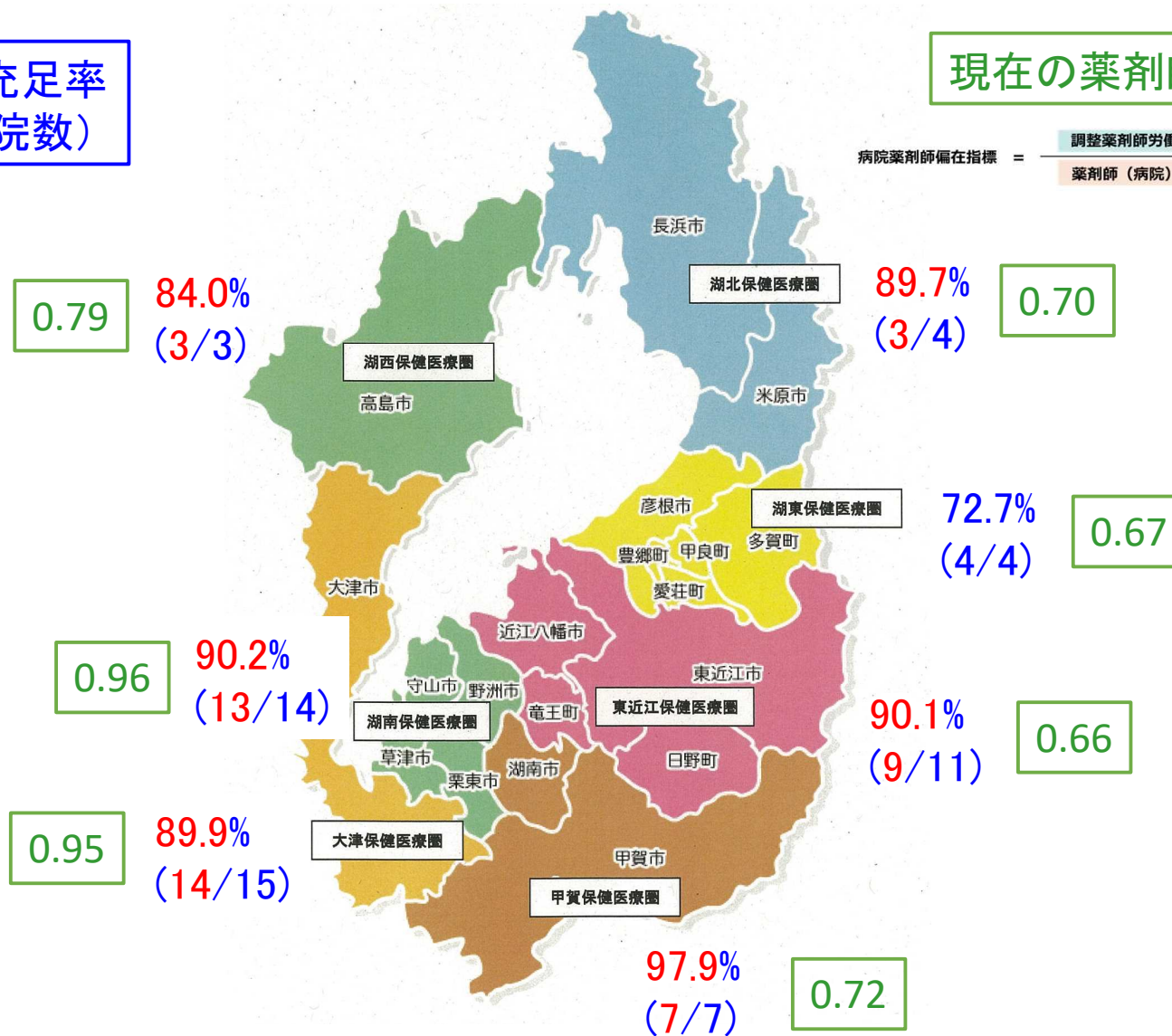
滋賀県の実態にあった形で地域偏在を評価できないか？

二次医療圏別の充足率(赤字はデータ更新)

定員に対する充足率
(回答数/全病院数)

現在の薬剤師偏在指標

$$\text{病院薬剤師偏在指標} = \frac{\text{調整薬剤師労働時間(病院) (※病院分子)}}{\text{薬剤師(病院)の推計業務量(※病院分母)}}$$



都市部では、定員充足と偏在指標の乖離が少なめだが、地方では乖離が大きい傾向がある

薬剤師偏在指標の算定式

1. 病院薬剤師偏在指標の算定式

$$\text{病院薬剤師偏在指標} = \frac{\text{調整薬剤師労働時間（病院）（※病院分子）}}{\text{薬剤師（病院）の推計業務量（※病院分母）}}$$

2. 薬局薬剤師偏在指標の算定式

$$\text{薬局薬剤師偏在指標} = \frac{\text{調整薬剤師労働時間（薬局）（※薬局分子）}}{\text{薬剤師（薬局）の推計業務量（※薬局分母）}}$$

※薬剤師偏在指標は、都道府県・二次医療圏などの地域毎に算出するものであり、分子、分母はともに当該地域のデータから算定される結果を用いる
・分子、分母の単位は「時間」

薬剤師偏在指標の算定式：調整薬剤師労働時間（分子）

1. 病院分子

調整薬剤師労働時間（病院）

$$= \Sigma \frac{\text{（勤務形態別性年齢階級別薬剤師数（病院））}}{\text{変数部分}} \times \frac{\text{薬剤師（病院）の勤務形態別性年齢階級別労働時間}}{\text{定数部分（アンケートデータを利用）}}$$

÷ 調整係数（病院）

$$\text{調整係数（病院）} = \frac{\text{全薬剤師（病院）の労働時間（中央値）}}{\text{全薬剤師（病院+薬局）の平均的な労働時間※}}$$

※病院薬剤師と薬局薬剤師それぞれの労働時間（中央値）を薬剤師数の比で加重平均

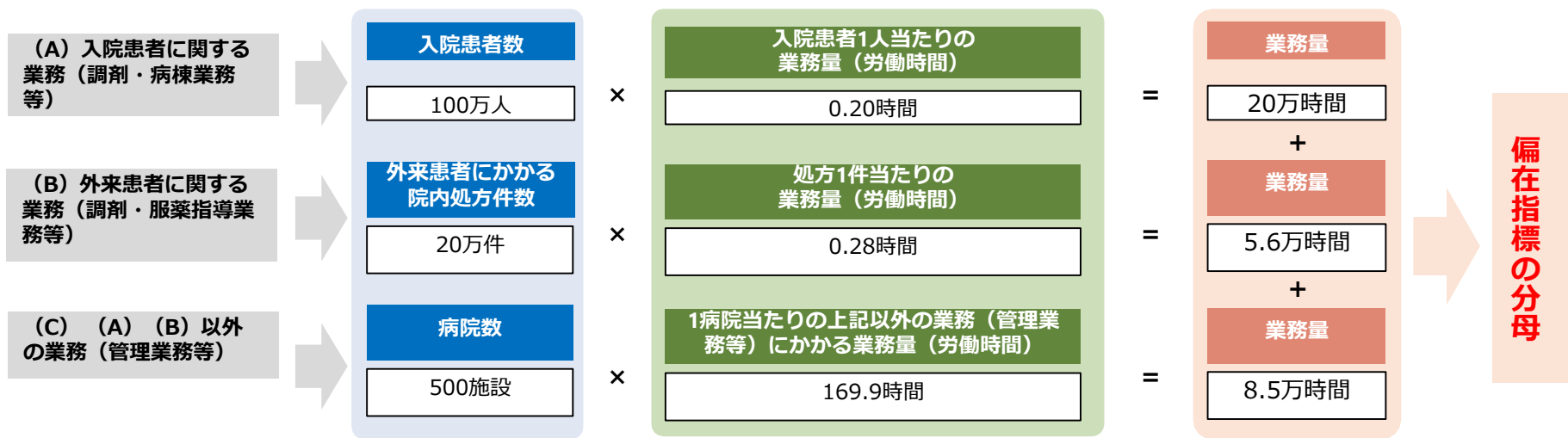
※偏在指標の算定式で使用する指標のうち平均値・中央値の使用の考え方:

算定式で使用する指標はアンケート調査結果を使用しているものが多く、基本的には回答全体の平均的な状況を把握する観点から平均値を使用することとしたが、労働時間に関する回答については回答データの分布から異常値が疑われるが、異常値と特定するまでに至らないデータが存在したことから、平均値を使用することは望ましくないと判断し、中央値を使用することとした。以後のページにおいて中央値と記載する箇所においても同様である。

薬剤師偏在指標の算定式：業務量（分母）

1. 病院分母

ある地域に所在する全病院の一定期間における業務量（※数値は例）



変数部分

定数部分

- 変数部分には、以下を満たす指標を設定
- ① 当該指標に比例して業務量が増えること
 - ② 地域（都道府県、二次医療圏）別に把握可能であること
 - ③ 客観的であること
 - ④ 経年変化が把握可能であること

- 変数部分に乗じて、業務量（労働時間）に換算するために設定
- アンケート調査結果から作成

全国データを使用

今回実施したアンケートデータを用いて、より滋賀県の実態を反映した指標を模索する。

偏在指標の算出に向けて

- まず、「変数部分」を最新のデータに置き換えることを試みたが、手持ちにないデータの利用がされているため、とりあえず据え置き。
- アンケートを利用する「定数部分」の置き換えを試みた。

病院の偏在指標の比較

二次医療圏	厚生労働省の算出した病院の偏在指標(病院)	今回のアンケート結果より算出した病院の偏在指標(仮)※
大津	0.95	0.94
湖南	0.96	0.96
甲賀	0.72	0.74
東近江	0.66	0.67
湖東	0.67	0.68
湖北	0.70	0.73
湖西	0.79	0.83

※定数部分を今回のアンケート結果を用いて、可能な限り置き換えた計算結果だが、現在検算中のため、(仮)としている。薬局の偏在指標についても現在計算中。

今後の予定

- 病院・薬局・薬剤師個人アンケートのまとめ、層別解析
- 学生アンケートの大学ごとや、出身地域ごとの傾向などについての解析
- 滋賀県版の薬剤師偏在指標の算出
- 報告書の作成

薬剤師確保対策

- 1 地域・職種の魅力発信について
- 2 求人情報の統一化および一元化
- 3 復職支援について
- 4 修学資金支援について

薬剤師確保対策

1 地域・職種の魅力発信について

各施設の地域での役割やPRポイント等をホームページ等で案内する。

例えば、

- ・地域の医療基盤（インフラ）と施設の役割
- ・地域のお祭り・イベント情報
- ・施設のイベント、リクリエーション
- ・研修制度やキャリアアップ支援 など

薬剤師確保対策

2 求人情報の統一化および一元化

求人情報（項目）の統一化

(1) 募集内容

職種、募集人数、雇用形態（①正職員 ②パート ③その他（ ））

(2) 提出書類

(3) 業務内容

勤務先、勤務時間、日当直の有無（①有り（平均月 回） ②無し）

(4) 給与

完全月給制、日給月給制など

初任給（基本給）、諸手当（地域手当、時間外手当、資格手当、当直手当、特殊勤務手当 平均 円）、その他手当（通勤手当、住居手当、扶養手当等）

(5) 休暇

週休〇日、年間休日日数〇日、特別休暇（①夏季休暇②結婚休暇

③出産・育児休暇④忌引休暇⑤介護休暇⑥その他（ ））

薬剤師確保対策

2 求人情報の統一化および一元化

求人情報（項目）の一元化

(1)各施設および所属団体のホームページに掲載する

統一した施設ホームページに統一フォーマットでの掲載が可能か？

所属団体のホームページにのみ統一フォーマットを掲載するか？

(2)県ホームページに団体ホームページのリンクを貼る

継続することにより求人情報の掲載方法の一般化を図る。

<効果>

①ファーストアクセスとなることで求人情報を容易に把握することができる。

②求人誌等への経費支出の削減ができる。

〇〇病院

1. 募集内容
職種 : 薬剤師
募集人数: 1人
雇用形態: 正職員
2. 提出書類
履歴書1通、薬剤師免許証(写し可)
3. 業務内容
勤務先 : 〇〇病院薬剤科(〇〇市〇〇町〇番地)
勤務時間: ①8:30~17:15②13:00~21:45
日当直 : 有り(平均月2回)
4. 給与
日給月給制
初任給(基本給)〇万円、諸手当(地域手当、時間外手当、資格手当、当直手当、特殊勤務手当
平均△万円)、その他手当(通勤手当、住居手当、扶養手当)
5. 休暇

薬剤師確保対策

3 修学資金支援について

(参考) 薬剤師の奨学金に係る補助制度の検討状況 (令和5年11月岩手県調査抜粋)

(1)実施状況

実施している	4件
実施予定	8件 (R6:5件 R7:3件)
実施検討中	13件
実施予定なし	17件

(2)金額・期間

4.5~10万円×12か月×6年間=324~720万円	在学期間
2.4万円×12か月×5年間=144万円	//
60万円×4年間=240万円	//
150万円	返済支援
3万円×12か月×2年間=72万円	勤務期間

薬剤師確保対策

3 修学資金支援について

検討すべき事項

(1) 支援対象の人数

偏在指標から少数地域における必要薬剤師数から算出
目標とする年数から按分し1年あたりの必要薬剤師数に
対し支援を行う

(2) 支援する金額と期間

金額：360万円※¹ または貸与額の少ない額

期間：3年間※²（年間120万円）

※1：月5万円×12か月×6年間

※2：就業期間を3年と設定し毎年分割して支給する

薬剤師確保対策

4 復職支援について

- 職場見学(体験)
実際の職場を見てもらうなど、薬剤師の仕事を近くで見ってもらう機会を設けてははどうか。(1日程度)
- 実務実習
復職等を前向きに考えておられる方には実際に仕事を経験してもらう機会を設けてはどうか。
2日から3日程度

○病院や薬局でこれらの受け入れは可能か。

○県病院薬剤師会および県薬剤師会において受け入れ態勢の整備は可能か。